

2016年9月6日

株式会社 リクルート ホールディングス

リクルートホールディングスが運営する「クリエイションギャラリーG8」にて本日スタート！

東京イラストレーターズ・ソサエティ主催

「158人の漱石」～百年後ノ吾輩、こゝろ、それから……展 開催！

株式会社リクルートホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：峰岸真澄）が運営するギャラリー「クリエイションギャラリーG8」（<http://rcc.recruit.co.jp/>）では2016年9月6日（火）より10月6日（木）の期間、「158人の漱石」～百年後ノ吾輩、こゝろ、それから……展を開催いたします。

「158人の漱石」～百年後ノ吾輩、こゝろ、それから……展について

東京イラストレーターズ・ソサエティ（略称TIS）は、1988年10月に発足しました。イラストレーションのさらなる可能性を模索し、発展を目指すために、展覧会の開催、後進の育成を目的とした公募・出版・研究会等の活動を行っています。

1989年に行われた「第1回東京イラストレーターズ・ソサエティ展」以降、TISでは展覧会を開催しています。開催ごとにテーマを変え、素材や形態、空間にも変化をつけながら、毎回バラエティに富んだ展示を行っています。特にクリエイションギャラリーG8で1995年より行われている展覧会は毎年恒例となり、多くの方にイラストレーションに親しんでいただける機会となっています。

22回目となる今年のテーマは、没後100年を迎えた夏目漱石です。若き日の松山、熊本、ロンドン滞在を経て、新しい時代を模索して格闘した日本の文豪に、100年後のそれからを重ね合わせる、総勢158人のイラストレーションによる時間旅行をお楽しみください。



本展覧会ポスター

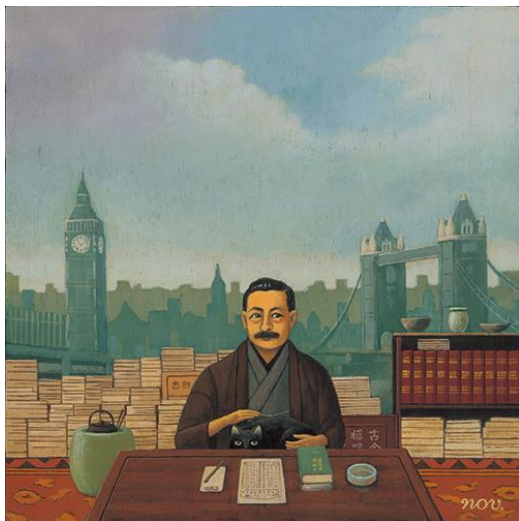
<展覧会概要>

- 企画展名 TOKYO ILLUSTRATORS SOCIETY PRESENTS
「158人の漱石」～百年後ノ吾輩、こゝろ、それから……展
- 会期 2016年9月6日（火）～10月6日（木） 11:00～19:00 日曜・祝日休館／入場無料
- 会場 クリエイションギャラリーG8
〒104-8001 東京都中央区銀座8-4-17 リクルートGINZA8ビル1階
TEL 03-6835-2260 <http://rcc.recruit.co.jp/>
- 展示内容 「夏目漱石」をテーマに30cm×30cmの正方形に描き下ろしたイラストレーション原画
158点を展示・販売（※一部出力作品あり）
- 主催 東京イラストレーターズ・ソサエティ
- 協力 株式会社リクルートホールディングス クリエイションギャラリーG8
- トークショー 第275回クリエイティブサロン
テーマ：「教えて小森さん、オールアバウト漱石」
日時：2016年9月28日（水）19:10～20:40
入場無料／要予約（TEL 03-6835-2260）
出演：小森陽一（国文学者）・後藤明夫（編集者）・浅妻健司（TIS会員）・
斉藤美奈子ポツフォード（TIS会員）・二宮由希子（TIS会員）

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit.jp/support/form/>

■展示作品例



矢吹申彦「ボクの頭を叩くセンセイ」



チカツタケオ「漱石の銅四脚羊鈕インク壺」



ミヤギユカリ「漱石と猫」



西口司郎「心・こころ」

■作品販売価格 1点 35,000円（額税込・税込）※一部非売作品あり

[販売に関してのお知らせ]

初日午前中のみ、作品販売のお申し込み順を抽選とさせていただきます。購入希望の方には、11時から11時30分まで抽選券を配布。11時30分より抽選を開始し、購入順を決定。この順にご希望の作品を販売いたします。

※11時30分以降にご来場のお客様は、抽選参加者のお申し込みが全て終了するまで、販売の受付はお待ちいただきますので、あらかじめご了承ください。そのあとは、通常通り、お申し込み順に販売を行います。

※抽選券の配布はご来場のお客様を対象とし、おひとり1枚とさせていただきます（電話での受付は行いません）。なお、抽選券1枚につき、作品購入は1点とします。

■夜店2016 日時：9月14日（水）18:30～20:30

TISが誇る作家陣がレアグッズ、手作りグッズを携えて1日限定のオリジナル店舗を展開。今年によりお客様参加型の楽しいイベントを計画しております。

※夜店の出店作家は、決まり次第ウェブサイトに掲載いたします。

■同時開催 第14回TIS公募受賞作品展 10月5日（水）～10月19日（水） ギャラリー5610

リクルートホールディングスではこれからも、働く、学ぶ、住む、結婚、育児、旅、車、趣味や暮らし情報など、さまざまな場面でユーザーが新しい発見・機会創出できるサービスを提供し、一人ひとりにあった「まだ、ここはない、出会い。」を届けることを目指していきます。